

ライネルス記念館

について



南山高等学校男子部生徒自治会文化委員会副委員長 安田洋平

文化庁登録有形文化財、名古屋市都市景観重要建築物と、国と名古屋市から重要建築物として指定されているにもかかわらずわれわれ南山生がほとんどその詳細を知らない謎の館——ライネルス記念館。今期の文化委員会の活動としてライネルス記念館（以下ライネルス館）を調べることになり、先日この謎の館に潜入しました。

歴史的建造物としての価値

・文化財

現在ライネルス館は、『文化庁登録有形文化財』と『名古屋市都市景観重要建築物』に指定されています。

『文化庁登録有形文化財』に登録されるには、

一、築後五〇年以上経っていること

二、（以下のどれか）

・国土の歴史的景観に寄与している

・造形の規範となっている

・再現することが容易でない

という要件を満たさねばならず、現在指定されているのはわずか五〇〇〇程の建築物です。重要なのは外観だけですので内装は自由に変えて良いそうです。

また、現在五九ある『名古屋市都市景観重要建築物』の一つとしても登録されています。

・設計

一九三二年に建てられたライネルス館の設計はマックス・ヒンデルというスイス人で、一六年間の日本滞在中に多数の教会やその付随施設の設計に携わった人物です。

柱には古代エジプト様式のデザインが施されています。



十字架の下には古代エジプトのファラオ（王）のかぶり物に多用されるコブラが着けられています。

また、キリスト教を強く意識した設計になっており、壁には“キリスト”を意味

する“XP”が刻まれているいたり、聖書に頻出する「羊」のオブジェが着けられています。



内部

・本館

玄関から入ると正面に階段があり、階段の踊り場には名古屋で初めての洋式トイレがあります。このトイレが名古屋市で初めて、というぐらいいですから誰も使えない方を知りません。そのため入学直後にまず教えられたのが「トイレの使い方」だそうです。



↑ 階段の踊り場にあるトイレ

ヨゼフ・ライネルス師がかつて校長室として使っていた部屋は現在応接室として使用されています。



↑ ドイツ人らしい合理的な両開きドア

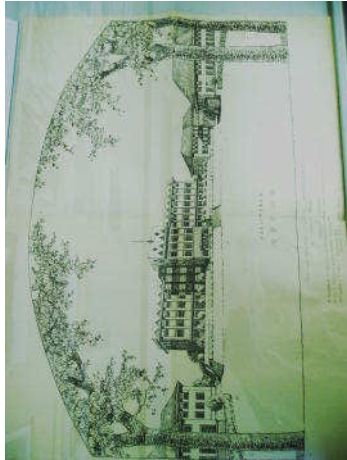
なお、廊下や階段などは当時のままなので木で造られています。

ちなみに、現在ライネルス館は南山学園の事務局として使用されています。



・資料室

ライネルス館には本館とは別で後に両端に増設されたウイングが存在します（写真は最も初期の校舎の図）。



そこには通常は外部非公開の学園資料館があり、設立当初からの南山学園に関する様々な資料や、当時使用されていた教科書や教材、当時の写真などが保管されています。設立認可などの重要書類を除き、所蔵品のほとんどはゴミ山から救出された物か卒業生による寄贈で

す。



↑ 当時の電扇（アメリカ製）



↑ 設立当時のピアノ



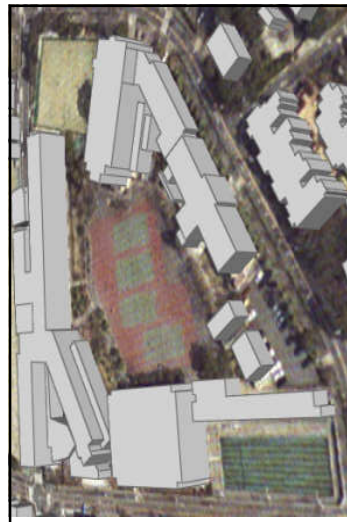
ライネルス師の墨跡

歴史

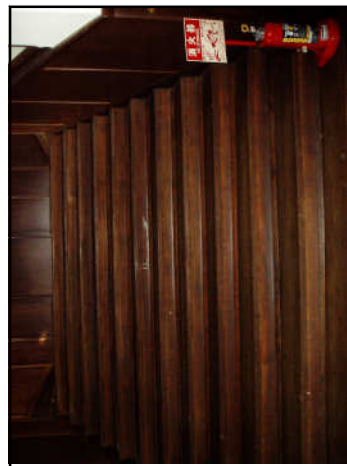
- 一九三二／二／二八 校舎竣工
- 一九四四／一二／六 陸軍連隊区司令部がライネルス館を接收
- 一九四五／一／八 空襲により西館一部焼失



↑ 男子部建設予定俯瞰図（昭和二五年）



↑ 現在の男子部（Google Earthより）



↑ 当時のままの木造階段



↑ ヒンデルのこだわりである菱形窓

* 南山大学英語部部室として使用され

ていた。



(文化委員・寺町提供)



一 英語部 部室からの眺望



一 善々と準備は進んでいるようです



一 二階の廊下

廊下や階段は昔から木造のため軋みが酷く、当時の生徒達は

その軋み音で先生方の到来を察知していたそうです。

なお、ライネルス記念館の取材時に私だけでおおよそ六十枚の写真を撮影しました。紙面の都合上、すべてを紹介することはできませんので、ごらんになりたい方はホームページ

(<http://nanzan.ojaru.jp/reiners>) をご利用ください。

この企画・文章に関わる一切の権利・義務は安田浩平と南山学園、及びその他の権利者に依拠します。許可無き転載を禁ず。